

We are all

Children of

社会・人間科学特別講義SB
地球市民のためのエコロジーとスピリチュアリティ
第2回:ジョアンナ・メイシーの世界、ディープエコロジー



2022.6.21

リベラルアーツ研究教育院教授

中野民夫

tamio.nakano@me.com

Tamio

全体の流れ

(変更の可能性あります)

- 1) 6.14 : オリエン、SDGsとサステナビリティの基本
- 2) 6.21 : ディープエコロジー、ジョアンナ・メイシー、
 - 深いつながりを取り戻す→Coming Back to Life, Active Hope
- 3) 6.28 : マインドフルネス、ティク・ナット・ハン
 - 今、ここ、ありのままに気づく。→万物の相互依存性 “inter-being”
- 4) 7.5:般若心経、修験道
 - 歌で学ぶ「色即是空・空即是色」とマントラ
- 5) 7.12 : 老子（タオ）の世界、加島祥造
 - 英訳からの現代語意識。社会意識と宇宙意識。
- 6) 7.19 : アメリカ先住民の知恵、「知恵の三つ編み」
 - 口承の物語「狼の代弁は誰がするのか？」を輪読
- 7) 7.26:聖フランチェスコの平和の祈り、総まとめ。
 - 「神よ、私をあなたの平和の道具としてお使いください」

アジェンダ

- 14:20 オリエン、フィードバックシート、復習
- 14:30 参加者チェックイン+宿題シェア
- 14:50 ジョアンナ・メイシーの世界

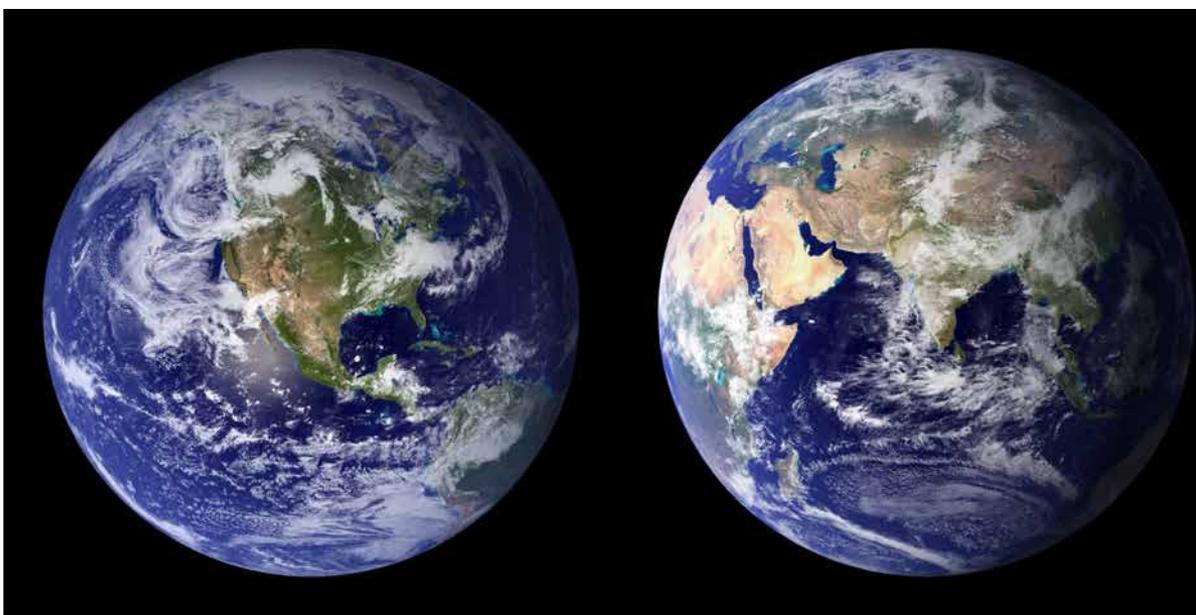
- 15:50 ふりかえり
- 16:00 終了

フィードバックシートより抜粋

お互いに読めると学び合えるので公開にしたいと思います。

Googleフォームの設定、どうしたらいいか誰か教えて。

- 私たちの今積み重ねている**日常が将来世代に直接的に影響を及ぼす**ということが当たり前だが、見落としがち。改めて気づけました。
- 先生の感受性がとても好きで、絵を描かれたり音楽をつくられたりするのを知って、私も**自分の心に安らぎを**与えてあげることがをしたい。
- 医療現場で働いていたことがあるが、WHOによれば、痛みには身体的、心理的、社会的側面に加えて、**スピリチュアルな（靈的）側面**が関係しているとされている。
- 環境問題をはじめ地球規模の課題に立ち向かわなくてはならない昨今、伝統宗教の限界や、国籍や言語といった障壁を超えるスピリチュアリティという概念は、その解決策の一助になりうるのでは。
- **私という存在もまた「より大きなものの一つ」**なのであり、人間は「**みんな地球の子どもたち**」であるという**視点**は、今後の生活でも忘れないようにしようと思った。
- **develop**の元々の意味が「可能性が開いていく」という**自動詞**であったが、徐々に他国「を」開発する、のような**他動詞**に変化していったという過程のお話が面白かった。（→『経済成長がなければ私たちは豊かになれないのか』ダグラス・ラミス元津田塾大教授）



美しい地球の未来を守...
a-kumahira.com



地球へ...GoProがとらえた美しい動...
wired.jp



【全面推奨】これ以上の絶景があるか！NASAが宇...
rocketnews24.com



最新気象衛星から届いた、美...
esquire.com



美しい映像を通して自然を取り戻すために人...
gigazine.net



Beautiful Earth / 美しい地球 - Y...
youtube.com



夜の美しい地球の姿を見...
thinktheearth.net



まさに息を呑むような景色...国際宇宙...
businessinsider.jp



ロケットニュース

【全面推奨】これ以上の絶景があるか！NASAが宇宙からとらえた地球の4K映像が震えるほど美しい | ロケットニュース24

画像は著作権で保護されている場合があります。詳細

表示

関連画像

もっと見る



国際宇宙ステーションから見た...
nlab.itmedia.co.jp



ねえ、宇宙に行ってみない？ | ...
tripos.jp



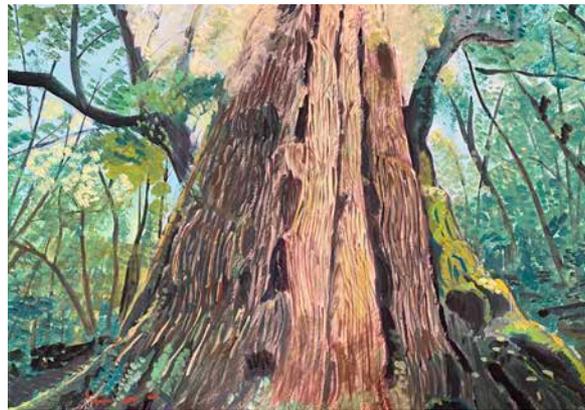
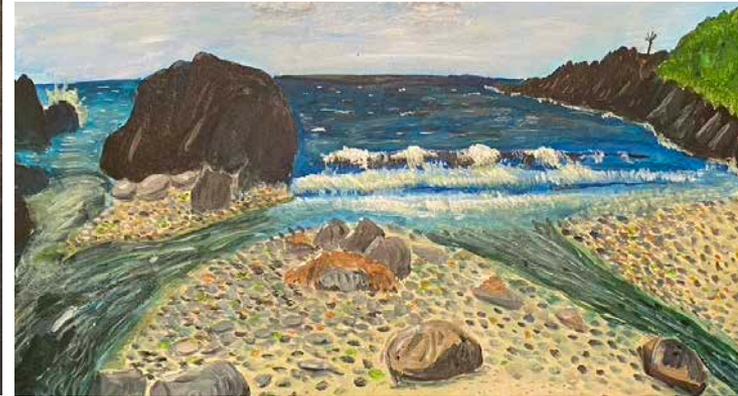
ボード「美しい地球」に最高の...
pinterest.jp



私たち人類は、この広大な宇宙の中の、銀河系、その中の太陽系の奇跡の惑星「地球」に生きている。この生態系を離れて生命はない。国境は元々無い。

この奇跡の星に生きる一員としての自覚 = 「地球市民」 感覚

人の社会は慌ただしいけれど、世界はやっぱり美しい。と描き始めて3年。夏に個展とライブを



SDGsウェディングケーキモデル

スウェーデンのレジリエンス研究所考案、SDGsの概念を表す構造モデル

頂点

17. パートナーシップ
で目標を達成しよう



Illustrated by
Johan Rockstrom and
Pavan Sukhdev

経済圏 Economy

- 8. 働きがいも経済成長も
- 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10. 人や国の不平等をなくそう
- 12. つくる責任 つかう責任

社会圏 Society

- 1. 貧困をなくそう
- 2. 飢餓をゼロに
- 3. すべての人に健康と福祉を
- 4. 質の高い教育をみんなに
- 5. ジェンダー平等を実現しよう
- 7. エネルギーをみんなにクリーンに
- 11. 住み続けられるまちづくりを
- 16. 平和と公正をすべての人に

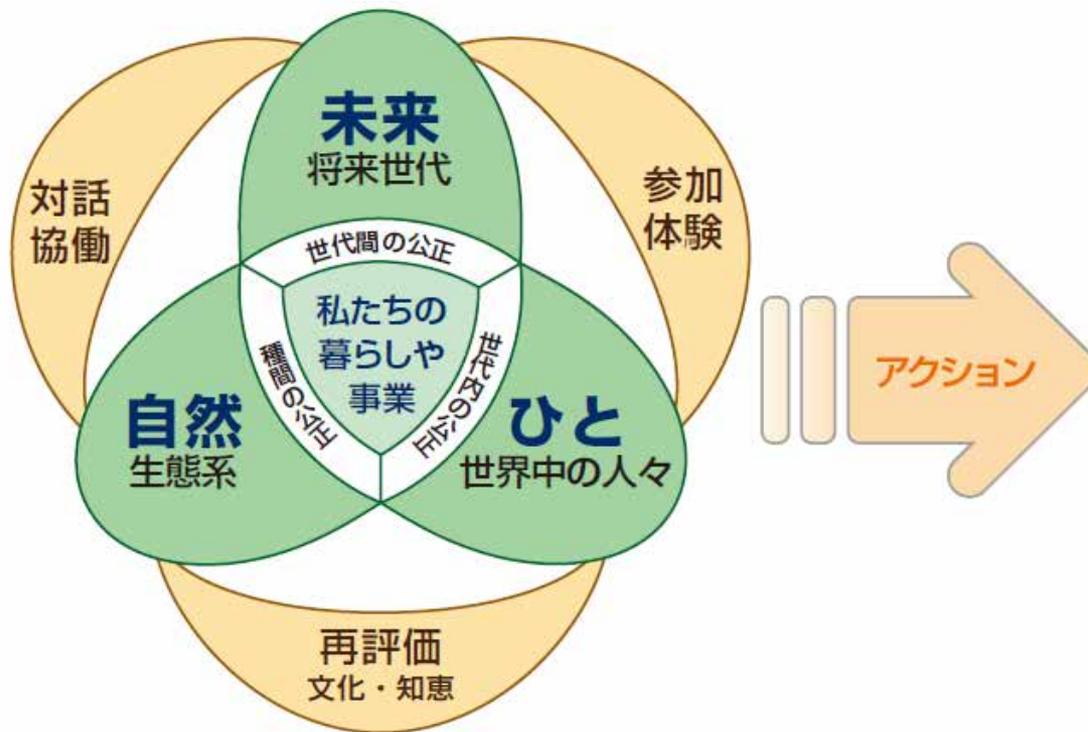
生物圏 Biosphere

- 6. 安全な水とトイレを世界中に
- 13. 気候変動に具体的な対策を
- 14. 海の豊かさを守ろう
- 15. 陸の豊かさを守ろう

<https://sdgs.media/blog/3834/>参照

サステナビリティの基本

3つの公正×3つのアプローチ=危機をチャンスに！



持続可能な社会の実現へ



- ①世代間の公正
- ②世代内の公正
- ③種間の公正

×

- ①対話・協働
- ②参加・体験
- ③文化・知恵の再評価

「危機」を チャンスに！

17のうち、最も関心があるのは？

→調べてみよう（宿題）

SDGsも問題はある。
SDGsウォッシュ
でも他の至らなさを
批判したり、しらけ
てる場合ではない

- 17のうち、最も関心があるのはどれですか？その心は？
- また、最も遠い、よくわからん、というのはどれですか？
- 皆さんの研究に関わるもの、貢献できそうなものはどれですか？
 - 今や地球市民（地球全体とのつながりへの感謝と責任を感じる人）の常識に。



6/14 次回に向けて（宿題）

- SDGsについて、各自で調べてみよう。
 - 1) SDGsって何？（知らない人に立ち話で一言説明すると）
 - 2) 自分が関心ある（身近・切実）のは？
 - 3) よく知らないのは（遠い）のは？
 - 3) 研究が関係したり、貢献できるのは？
- パワポ数枚（4枚程度） or ワード 1-2枚にまとめてくる。
 - 次回小グループシェアで画面共有しやすいように。
- 次回は「ジョアンナ・メイシーの世界」。予習を
 - つながりを取り戻す、生命への回帰、ディープエコロジー、絶望と再生
 - サンフランシスコのCIISでの講演前の紹介動画（翻訳付き）
 - <https://activehope.jp/authors/video/to-live-in-the-fullness-of-time/>
 - 9分ほど。詩が読まれたり、歌が歌われたりのスタイルも注目。
 - （参考：その後の講演は英語のみ（2時間弱））

チェックイン＋宿題シェア

- どんな人がどんな思いでここに？
 - 全員が少しずつ話す＝「チェックイン」
- 4人組に分けます。BORは顔出しで。
 - 12分預けます。名前（姓）の逆50音順で。最初の方、その後のファシリテーターよろしく。
- お題：チャットに入れます
 - 0) まず自己紹介：名前（好きなこと、仕事や活動、研究テーマ、）
 - 自己紹介でまず一周。その後に宿題シェア（画面共有）時間管理注意
 - 1) SDGsって何？（知らない人に立ち話で一言説明すると）
 - 2) 自分が関心ある（身近・切実）のは？
 - 3) よく知らないのは（遠い）のは？
 - 3) 研究が関係したり、貢献できるのは？

全体で

- いかがでしたか？
- 話していたことでも、そうでなくてもいいので、どなたか感想など一言全体にシェアしてください。

ジョアンナ・メイシーの世界

Deep ecology

深いつながりに目覚める



「深いやすらぎ、大きな勇気」

アイデンティティの拡大

JOANNA MACY

AND HER WORK

ICH LEBE MEIN LEBEN IN WACHSENDEN RINGEN

I live my life in widening circles
that reach out across the world.

I may not complete this last one
but I give myself to it.

I circle around God, around the primordial tower.

I've been circling for thousands of years
and I still don't know: am I a falcon,
a storm, or a great song?

— R.M. RILKE, BOOK OF HOURS

WELCOME

広がりゆく輪の中で 私は私の生命を生きる
その波紋は この世界にあまねく触れてゆく
その最後の輪へと私が行き着くことはないかもしれない
それでも私はただひたすらに この生命を生きる
神の周り、すべてに先立つあの塔の周りを 私は巡り続ける
幾千年も止むことなく
それでも今なお分からない——私は鷹か
あるいは嵐、それとも大なる歌なのか

— 『R.M. RILKE, BOOK OF HOURS (リルケ時祷書)』より

JOANNA MACY & HER WORK

SEARCH



WELCOME

WORK

PUBLICATIONS

BIOGRAPHY

CONTACT

“Active Hope is waking up to the beauty of life on whose behalf we can act. We belong to this world.”



JOANNA MACY PH.D, AUTHOR & TEACHER, IS A SCHOLAR OF BUDDHISM, SYSTEMS THINKING AND DEEP ECOLOGY. A RESPECTED VOICE IN MOVEMENTS FOR PEACE, JUSTICE, AND ECOLOGY, SHE INTERWEAVES HER SCHOLARSHIP WITH LEARNINGS FROM SIX DECADES OF ACTIVISM.

THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA, BERKELEY, CALIFORNIA, U.S.A. | www.joannamacy.com

Joanna Macyとの出会い

- 留学中の1991年1月、湾岸戦争勃発直前
 - サンフランシスコCIIS、輪になって座っていた授業
- “How do you feel?” で始まったシェアリング
 - 皆から熱い嘆きや怒りが噴出し圧倒される。
- 帰りに日本人の風砂子さんに相談。
 - 彼女の声かけからバークレイ“KAI”（戦争についての思いを分かち合い、深め合い、行動する会）が誕生。
- インタビューで「戦争を止めるために何が？」
- 「孤立しないで集い合い問い合うことが力です」
 - KAIの様々な活動の展開で、問い合う力を実感、実証。
 - テイク・ナット・ハンのBeing Peace読書会にも繋がる。
 - 30年経っても「続・地球の集まり」として継続展開。

ビデオインタビューで

Q: 「この戦争を止めるために、私たちに
何ができるのでしょうか？」 に対して

- その質問こそが出発点です。問うことほど、強力なことはありません。自分自身に、友人たちに、繰り返し問い続けなければなりません。
もし答えが見つからなければ、それはさらに問い続ける門を開くことになります。
決して自分を孤立させないよう、小さなグループで集まることは、とても重要なことです。心強いことに、今世界中で人々が集まっています。ドイツでも、もちろんここサンフランシスコ・ベイエリアでも、週に何回もの集会や話し合いやデモが行われています。(中略)
- 自分たちのコミュニティを作っていかなければなりません。職場で、近所同士で、カフェで、お互いに“**How do you feel?**” (どう思う?) と問い合うために。

- 戦争について、核廃棄物が世界中に輸送されていることや、原子炉の増設について、戦争や非協力について、“What can I do?”（何ができるだろう？）と問い合うために。
それほど力強く、豊かな質問はありません。なぜならそれに対する答えは、一人ひとりの内部から出てくるのであり、向かうべき方向は一人ひとりに納得され、一人ひとりに触れられるからです。
- また、政府が私たちの同意なしに政治を行うことはできないのだ、ということを出さなくてはなりません。国民である私たちには、責任と、権力を取り除く権利と力があるのです。（中略）
- たぶん私たちは、自分たちでも驚くほどの力強さと智慧と柔軟性を、今、発見し始めているのでしょう。今起こっていることを、自分が好んではないことを認めているのですから。私たちには、集まり、つながり合って、状況を変えていく責任があるのです。

（ジョアンナ・メイシーインタビュー、訳：風砂子、
『ピース・ナウ！』バークレイ「K A I」、1991年2月発行より）

「この戦争を止めるために、私たちに何が出来る？」 集い合い、わかち合い、問い合う場、Berkeley “Kai” から、今たくさんのが始まった。

1991.1 ジョアンナの授業

Berkeley “Kai” @ 風砂子宅

戦争についての思いを分かち合い、自分たちで情報を集め、行動しようという在バークレイ日本人の会

小田まゆみさんら女性グループ
虹の蛇: Plutonium Free Future

Inochi Foundation

↓
地球の集まり

↓
続・地球の集まり

齊藤由香さんら
バークレイで今も継続！

榎本英剛ら『アクティブ・ホープ』2016カリフォルニア合宿
2020.9『カミング・バック・トゥ・ライフ』斎藤訳出版
中野が解説。出版記念
zoomイベントでも「集い合い問い合うことが力です」

Joanna本を星川さんと翻訳『世界は恋人、世界はわたし』『地球の声を聴く』

星川淳、まゆみさんとの縁で、
ポーラ・アンダーウッドの
ハワイ島合宿

まゆみ→村川治彦の縁で
Joan Halifax 老師2012京都
2015からGRACE
2018からAWARE

2020.12日本GRACE研究会
第三回年次大会

毎週の分かち合いのサークル+幾つもの分科会
ビデオ「ピースナウ」ジョアンナインタビュー
冊子「ピースナウ」翻訳、イスラムの勉強

中野の修論”Toward Our True Nature”

Web of Life (ウェブ・オブ・ライフ) で集い、学び合い、企画

93・95年ディープエコロジーツアー

岩手に岩谷孝子参加

『ワークショップ』2001
『ファシリテーション革命』

屋久島
「本然庵」
(2006～)

ファシリテーション講座 (03～)

講師陣共著『ファシリテーション』2009岩波書店
『看護のためのファシリテーション』

“Being Peace”

内と外の平和、ティク・ナット・ハン 棚橋一晃さんと読書会

ティク・ナット・ハン 著作翻訳プロモート『微笑みを生きる』(春秋社) 他

マインドフル・プロジェクト (ティク・ナット・ハン1995年来日企画) 島田啓介、藤田一照ら

Be-Nature School

(96始動) に参画
「自分という自然に出会う」

ティク・ナット・ハンの翻訳書相次ぐ再来日企画
弟子たちの来日企画

昨今のマインドフルネス・ブーム

昨今のファシリテーションの普及

中野の修士論文：Toward Our True Nature:
Experiential resources for a more ecological and peaceful world.
環境破壊や戦争の根本原因と乗り越えの方向性とWS案

【課題】

1. 切り離され孤立しているという私たちの「自己」認識
Separated Self



主にJoanna
Macyから

2. 「あること(Being)」より「すること(Doing)への強迫
Doing more than Being



主にThich
Nhat Hanh
から

3. 自分自身をありのままに感じ、正直にあらわにできる場がない
No space to reveal oneself



主にHoward
Schechter
から

【解決の方向性】

1. お互いにつながりあい関係しあった大きな自己認識
Inter-connected Self

つながり

2. 今ここに、ただ在ることを楽しむ
Just Being

今ここ

3. お互いに真実を話し聴きあえる場を創る
Create the "Space"

心から

intention: 奥深い希求

- intention: 「意図」？
 - 今日ここに集まったあなたの“intention”は何？
 - Joannaはこのことをとても大切にしていた。
- 私なりの意識：「奥深い希求」
 - 私という存在の奥深いところで、希い（ねがい）求めている何か。
 - 自分でも意識化されていない、言葉になっていないかもしれない思い。
 - それが自分の目指す方向性、存在の軸になっている。
- ここにいる皆さんの「インテンション」は？

つながりを取り戻すワークから 「アクティブ・ホープ」へ

<https://activehope.jp>



- ①「これまで通りで問題無い！」と居直るのも、
- ②「もうダメ、大崩壊だ」と絶望的になるのもなく、
- ③この大転換期（エコロジカル/サステナブル革命の時代）に生まれたことに感謝し、世界の痛みを感じながらも前向きに希望を生き、大転換の冒険物語に身を投じよう。
- = Active Hope:自ら希望を描き、生きる！
 - cf. Passive Hope:いつか誰かが解決してくれるはず。

4つのステージ

- この大転換をめぐる人や生命の織物との「つながりを取り戻す」ワークのスパイラルは4つのステージで構成される。
- 今、コロナや戦争の時代にも有効！
 - 1) まずは感謝の気持ちから始める
 - 2) 世界に対する痛みを大切にする
 - 3) 新しい目（世界=私）で世界を観る
 - 4) それぞれの場で前に向かって進む

ジョアンナのワークの4つのステージを歌詞に盛り込んだ「アクティブ・ホープ」の歌が生まれた。

Active Hopeの歌「希望を生きる」

1. 朝起きて、今日も世界は問題だらけ。

（だけ）呼吸は今日も僕らのいのちを生かしてくれる
だから、感謝に心を開こう！（Open）

2. 自然も社会も私の心も傷だらけ。

（だけ）痛みの中には愛があるから大丈夫
だから、恐れずに痛みを感じよう！（Feel）

3. 私とあなたと地球とみんなバラバラに見えた。

（だけ）新しい目で世界を見たらみんなつながっていた。
私もあなたも地球もひとつ！（Love）

4. もう一人じゃない。自分の場所で前に動いていこう。

先祖も私も未来の世代もみんなつながってる
仲間と地球と力を合わせて **Go!**

☆ ああ～ Active Hope! つながる力
ああ～ Active Hope! 深いやすらぎ
ああ～ Active Hope! 大きな勇気
ああ～ Active Hope! 希望を生きよう！

（☆繰り返し）
イエーイ!

2016.7.3 Tamio & River Siders 作詞
(3人、2人、2人、2人、2人)

(4)	Yuka	0001-7117		
1	ALINA	0001-7117	Time (Guitar)	MAESU
(2)	Ch	0001-7117	MAESU	MAESU
2	7-10137	MAESU	MAESU	MAESU
(3)	Ch	0001-7117	MAESU	MAESU
3	7-10137	MAESU	MAESU	MAESU
(4)	Yuka	0001-7117		

4名...キッチンで食器を洗います
2名...テブルや室内に置き忘れたグラス・カップ・プレートを持ち上げたり
ダイニングルームをきれいにします

MIYA	あき	Shika
Keiko	with all	epoch

Active Hope (アクティブ・ホープ) の歌：希望を生きる

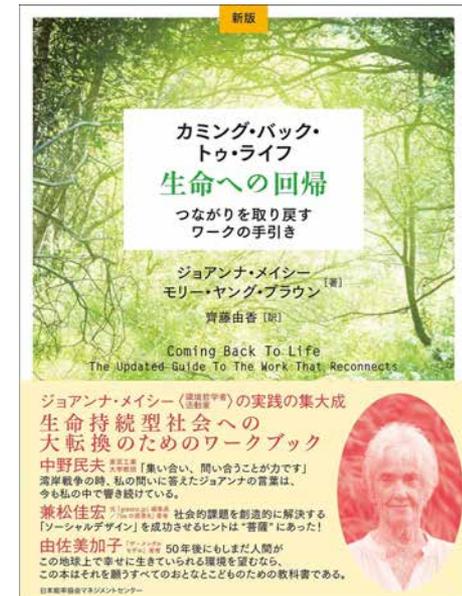
2016.7.3Joanna Macy Intensive@rivers bend retreat center
曲：中野民夫、詞：tamio & river siders(Shika, Mikae, Miwa, Koji-ni, Take)

1. 朝起きると、今日も世界は問題だらけ。
だけど呼吸は今日も僕らのいのちを生かしてくれる
だから、感謝して、心を開こう (Open!)
 2. 自然も社会も私の心も傷だらけ
だけど痛みの奥には愛があるから大丈夫
だから、恐れずに、痛みを感じよう (Feel!)
 3. 私とあなたと地球とみんなバラバラに見えてた
だけど新しい目で世界を見たらみんなつながってた
私も、あなたも、地球もひとつ (Love!)
 4. もう一人じゃない、自分の場所で前に動いていこう
先祖も私も未来の世代も、みんなつながってる
仲間と地球と、力合わせて (Go!)
- * ああ～Active Hope! つながる力、
ああ～Active Hope! 深いやすらぎ
ああ～Active Hope! 大きな勇気、
ああ～Active Hope! 希望を生きよう！イエィ！

Coming Back To Life

『カミング・バック・トゥ・ライフ 生命への回帰 つながりを取り戻すワークの手引き』
(ジョアンナ・メイシー著、齊藤由香訳、サンガ→JMAM)

- 2020年9月5日屋久島滞在中、『Coming Back To Life』出版記念zoomイベントで
- 「感じている本当のことを語る」意義を強調
 - 91歳の熱いジョアンナの姿に触発され曲が生まれた。
- 回帰すべきLifeは、普段、思っているよりずっと大きい。Deep Ecology的生命観
 - 地球の生命の歴史40億年につらなる (タテ)
 - 日々衣食住、地球の生態系や世界中の人々の働きに支えられてる (ヨコ)
- 「大きなつながるいのち」に帰ろう！
- この感覚こそサステナビリティの基盤！
 - 話題の「SDGs」(持続可能な開発目標)のこころ
 - 3つの公正：私たちと未来世代・全生物・人々



Coming Back To Life(つながるいのちに帰ろう)

Inspired by Joanna Macy, at Yakushima
2020.9.5 Tamio Nakano

C G C C7, F F(C) G G7
*カミング・バック・トゥ・ライフ、カミング・バック・トゥ・ライフ

Em Dm C G C
つながるいのちに帰ろう、ただいま、おかえり

1. この私のいのち、どこから？ 親の親のまた親(おやおや)
地球のいのち40億年、みんながつないでる
2. この水や食べ物、どこから？ 着るものも住むところもどこから？
みんな自然の恵みと、たくさんの人のはたらき
3. 未来の世界、どこから？ 私たちのふるまいが創る
大きないのちの織物、一緒に編もうよ

F C Dm7 G
目覚めの鍵を開けるには、真実を語ろう

C G C F C G C
感じている本当のこと、いのちに語らせよう
感じている本当のこと、いのちに語らせよう

*カミング・バック・トゥ・ライフ、カミング・バック・トゥ・ライフ
つながるいのちに帰ろう、ただいま、おかえり、ただいま、ありがとう

SDGsウェディングケーキモデル

スウェーデンのレジリエンス研究所考案、SDGsの概念を表す構造モデル

頂点

17. パートナーシップ
で目標を達成しよう



Illustrated by
Johan Rockstrom and
Pavan Sukhdev

経済圏 Economy

- 8. 働きがいも経済成長も
- 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10. 人や国の不平等をなくそう
- 12. つくる責任 つかう責任

社会圏 Society

- 1. 貧困をなくそう
- 2. 飢餓をゼロに
- 3. すべての人に健康と福祉を
- 4. 質の高い教育をみんなに
- 5. ジェンダー平等を実現しよう
- 7. エネルギーをみんなにクリーンに
- 11. 住み続けられるまちづくりを
- 16. 平和と公正をすべての人に

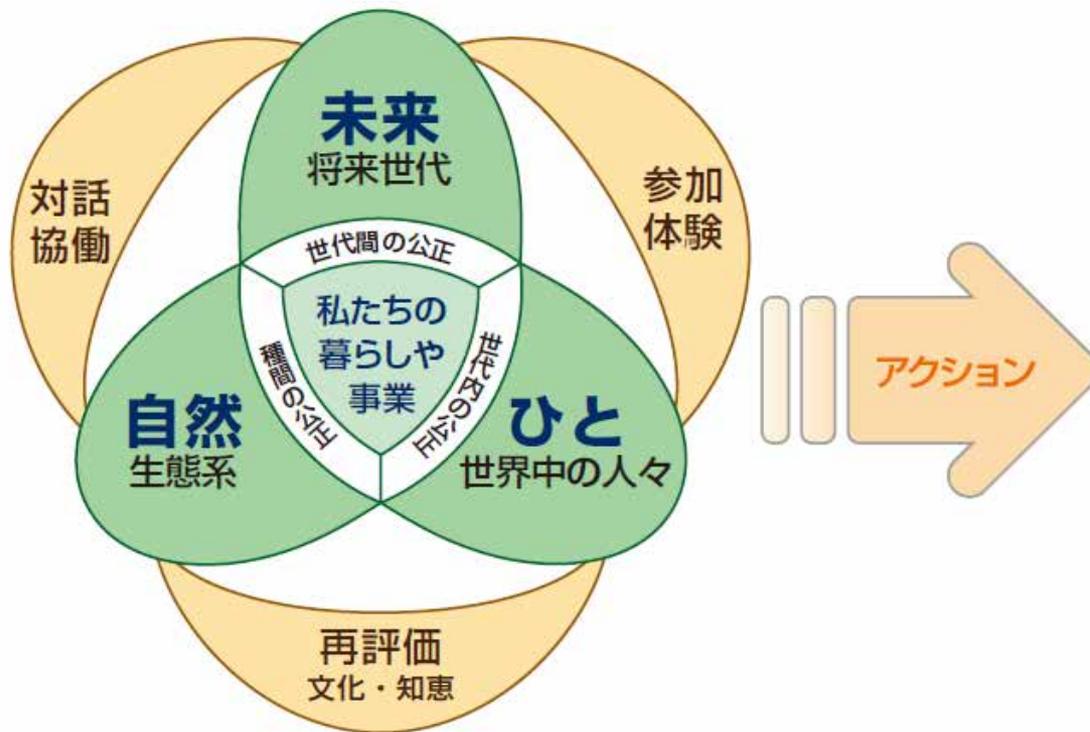
生物圏 Biosphere

- 6. 安全な水とトイレを世界中に
- 13. 気候変動に具体的な対策を
- 14. 海の豊かさを守ろう
- 15. 陸の豊かさを守ろう

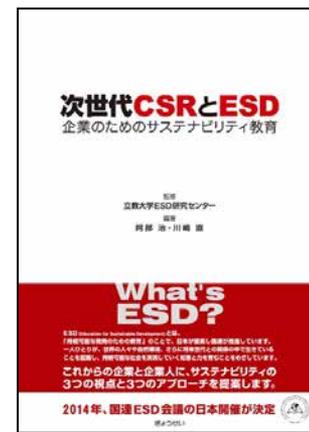
<https://sdgs.media/blog/3834/>参照

サステナビリティの基本

3つの公正×3つのアプローチ=危機をチャンスに！



持続可能な社会の実現へ



- ①世代間の公正
- ②世代内の公正
- ③種間の公正

×

- ①対話・協働
- ②参加・体験
- ③文化・知恵の再評価

「危機」を チャンスに！

地球市民感覚
(中野のイメージ)



もし「みんな地球の子どもたち」と私たちが実感できたら、平和や環境、持続可能性の問題はどう変わるだろう？

Tamio

最後にフィードバックを

- 第3回：マインドフルネス、ティク・ナット・ハン
 - 今、ここ、ありのままに気づく。
 - →万物の相互依存性 “inter-being”
- 今日の授業のふりかえり（リフレクション）
 - どんな気づき・発見、そして学びがありましたか？
 - 少し静かに振り返って、Googleフォームに書き込んでみてください。
 - お互いに読めると学び合えるので公開にしたいと思います。
Googleフォームの設定、どうしたらいいか誰か教えて。